

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
戸別訪問の実施件数	958	18	41	30	30

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進  
資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

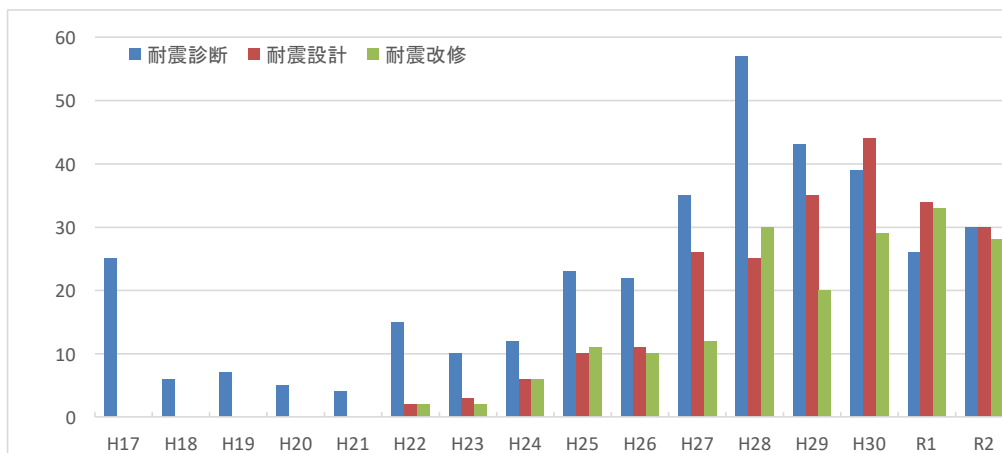
	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	2	2
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	1	2	2	2	2
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	3	0	3
耐震改修技術学校	4回× 2会場	3回× 1会場	4回× 1会場	0	4回× 1会場
耐震補強工事実務講習会	4	5	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
広報誌等への掲載	4月 11月	5月 8月	5月 10月	4月 5月 10月	4月、7月 10月、2月
庁舎内パネル展示	—	9月	9月	9月	12月

耐震改修の実績

(棟数)	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断	43	39	26	30	
耐震設計	35	44	34	30	
耐震改修	20	29	33	28	30



#### 前年度の取組内容

避難路沿いの住宅を中心に戸別訪問を実施した。  
市民図書館で9月の2週間、地震の啓発ブースと模型を展示を実施した。  
診断を実施し、設計を行っていない方へ、DMを送り耐震化の促進を実施した。  
地区等での催しでチラシの配布を実施した。

#### 見えてきた課題

制度の周知については、ある一定の成果を得ることができているが、耐震工事へかかる自己負担の懸念や地震の浸水域内のため、耐震工事の意味がないなど耐震化に前向きではない方がいる。

#### 今年度の取組内容

引き続き、避難路沿いの住宅を中心に戸別訪問もしくはチラシの配布を行い、各補助制度のPRを行う。  
また、地区等での催しに積極的に参加し、住宅所有者へ耐震工事の促進を行う。

